

患者様に対する説明文書

現在、緩和ケア科では「がん性疼痛、および神経障害性痛に対するタペンタドールの有効性の検討」と題した観察研究を行っています。これは、がん性疼痛に対してタペンタドールという医療用の麻薬を処方された患者様の診療記録を分析し、除痛の程度、副作用の発生頻度を検討するものです。この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会において科学性と倫理性を厳密に審査され、病院長に承認されております。また、ご不明な点があれば遠慮なくご質問下さい。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 研究の対象

今回の研究対象者は 2015 年 1 月から 2022 年 8 月までにがん性疼痛に対してタペンタドールが処方された患者様です。

2. 研究の目的と方法

タペンタドールには、痛み刺激が脳に伝達されることを抑え、鎮痛作用を増強する作用があります。さらには、オピオイド関連副作用である悪心、嘔吐、便秘作用が少ないことが期待されています。そこで、本研究においてはがん性疼痛に対してタペンタドールが処方された患者様の診療記録を後ろ向きに調査し、疼痛軽減度、副作用発現頻度、強度を検討致します。

3. 研究期間

2015 年 1 月から 2022 年 11 月

4. 研究に用いる情報の種類

患者様の年齢、性別、疾患名、疼痛部位、疼痛強度の変化、便秘や嘔気等の他の症状の有無

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

施設住所：〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

病院名：東京歯科大学市川総合病院

科名：緩和ケア科

責任医師：小板橋俊哉

電話：047-322-0151